

Utility Model Gazette

Publication No.: 51-4823

Publication Date: February 10, 1976

IPC: A44B 19/24

Title: Slide Fastener

Application No.: 47-142324

Application Date: December 13, 1972

Laid-Open Publication No.: 49-97004

Laid-Open Publication Date: August 21, 1974

Applicant: Color Fastener Industrial Co., Ltd.

Abstract

The slide fastener of this device is explained by an embodiment shown in Fig. 1. The reference numerals 1, 1 indicate element rows which are sewn 3, 3 on inner edge portions of right and left tapes 2, 2 and comprise continuous engaging elements made of a synthetic resin wire rod such as a nylon coil. The head portion 1a of the element is bent in a flat (bottom) face round shape, so that in an inner portion of the head portion, a space portion 1b having a shape such as a round shape corresponding to the bent shape or the head portion is formed sequentially. In the engaging condition, a leg portion 4b of a pin 4 having a head 4a is fitted and inserted into the space portion 1b, which is continuous in an up-and-down direction of the right and left element rows 1, 1, in an upward direction from the space portion 1b of the lowest portion (bottom portion) of the element rows. The reference numeral 5 indicates a slider, and the reference numeral 6 indicates an upper stopper.

In the above slide fastener, when the slider 5 comes down to the bottom, a bottom portion of a column portion of the slider 5 comes into contact with an upper surface of the element 1 where an end portion of the leg portion 4b of the pin 4 is engaged in the space portion 1b, and the element rows 1, 1 of its lower portion are connected by the pin 4 and the engagement is not unloosed. Therefore, the slider 5 is stopped at the position and the stopping function at the lower position is worked. Further, since the right and left element rows 1, 1 are provided with a force toward right and left outward directions by the column portion, the leg portion 4b of the pin 4 is pinched and held by inner surfaces of the head portions 1a, 1a of the right and left element rows 1, 1,

so that the pin 4 is not dropped out. In the above features, the pin 4 can be fixed to the position where it is fitted and inserted, with adhesive and the like.

Fig 28

⑨Int.Cl.³
A 44 B 19 / 24

⑩日本分類
121 A 350.3

⑪日本国特許庁

⑫実用新案出願公告
昭51-4823

実用新案公報

庁内整理番号 6936—35

⑬公告 昭和51年(1976)2月10日

(全2頁)

⑭スライドフアスナー

⑮実 願 昭47-142324
⑯出 願 昭47(1972)12月13日
公 開 昭49-97004
⑰昭49(1974)8月21日

⑱考 案 者 中島敦夫
座間市相武台2の4866の1カ
ラーフアスナー工業株式会社内
⑲出 願 人 カラーフアスナー工業株式会社
座間市相武台2の4866の1
⑳代 理 人 弁理士 西村教光

㉑実用新案登録請求の範囲

一本の合成樹脂線材を、コイル状若しくはジグザグ状(ルールマンタイプ)に形成させると共にその頭部を対向内方に平面円形若しくはコ形に折曲形成させることにより、該頭部の内部に上記頭部の折曲形状に応じた円形等の空間部を順次形成させるようにしたいわゆる合成樹脂線材製連続互錠素子より成る左右務歯列を有するスライドフアスナーにおいて、嚙合状態において、左右務歯列の上下方向に連続する前記中間空間部内に、その最下部の空間部から上方向にピンを嵌挿させたスライドフアスナー。

考案の詳細な説明

この考案は、一本の合成樹脂線材を、コイル状若しくはジグザグ状(ルールマンタイプ)に形成させるようにしたいわゆる合成樹脂線材製連続互錠素子より成る左右務歯列を有するスライドフアスナーにおける、上止め部の形状に関するものである。

従来の上記下止め部は、別途金属製あるいは合成樹脂製の下止め具によつて結合せしめられているのであるが、その取り付けが面倒であり、またスライドフアスナーを被服等に取り付ける際邪魔になる等の問題点があつた。

この考案は以上のような点に鑑み、嚙合状態と

した左右務歯列の上下方向に連続する中間空間部内に、その最下部の開口から上方向にピンを嵌挿させることにより、このピンによつて下止め作用をなさしめるようにしたもので、その取り付けを容易となし、しかも下止め部材が務歯列の中間空間部内に位置するようにして、スライドフアスナーを被服等に取り付ける際、これが邪魔になることなく、また外観上も良好となるようにしたものである。

次に、この考案に係るスライドフアスナーを図の一実施例によつて説明すれば、1、1'は、左右テープ2、2の内縁部上に縫着3、3されたナイロンコイル状等の合成樹脂線材製連続互錠素子より成る務歯列で、その頭部1aは平(底)面円形に折曲形成されることにより、その内部に上記頭部の折曲形状に応じた円形等の空間部1bが順次形成されている。然して、嚙合状態において、左右務歯列1、1の上下方向に連続する前記中間部1b内には、その最下部(底部)の空間部1bから上方向に、頭4a付きピン4の脚部4bが嵌挿されている。5はスライダ、6は上止め具である。

上記のスライドフアスナーにおいて、スライダ5を最下降させると、スライダ5の柱部の底部は、ピン4の脚部4bの脚端部が空間部1b内に係合する務歯1の上面に接当し、その下部の務歯列1、1は、ピン4によつて結合され、その嚙合が解けることはないから、スライダ5はその位置で停止し、下止め作用が働くことになる。またさらに上記柱部によつて、左右の務歯1、1には左右外方向への力が与えられるから、ピン4の脚部4bには左右務歯1、1列の頭部1a、1aの内面によつて挟持され、ピン4が脱落することはない。

尚上記の構成において、ピン4は、その嵌挿位置に接着剤等によつて固着させるようにしてもさしつかえない。また務歯列は、上記コイル状の他、ジグザグ状(ルールマンタイプ)のものを使用し

3

4

ても同じである。

この考案は以上説明したように、噛合状態とした左右務歯1、1列の上下方向に連続する中間空間部1b内に、その最下部の開口から上方方向にピン4を挿入させ、このピン4によつて下止め作用をなさしめるようにしたので、上記下止め部材の取り付けが容易であるばかりか、該下止め部材は務歯列の中間空間部1b内に位置せしめられるか

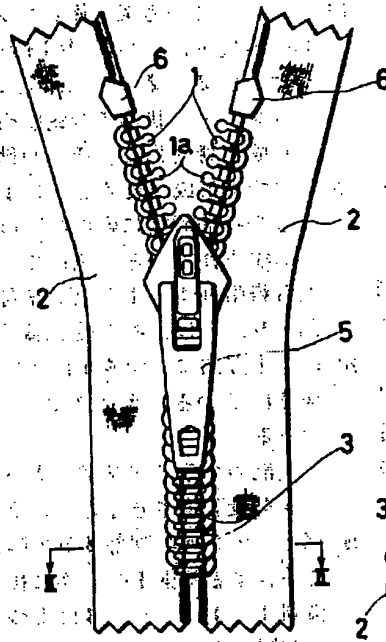
ら、スライドフアスナーを被服等に取り付ける際、これが邪魔になることなく、外観上も、シンプルで良好となる効果がある。

図面の簡単な説明

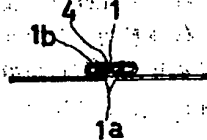
第1図はこの考案に係るスライドフアスナーの平面図、第2図は同要部の分解斜視図、第3図は第1図のIII-III線における断面図である。

1—務歯、4—ピン。

第1図



第3図



第2図

